

---

**雑 報**

---

◇ 本号は、本年3月31日付をもって香川大学経済学部を停年退官された宮田亘朗先生の記念号である。先生は、昭和39年に本学に赴任され、33年の長きにわたり本学のために尽力されてこられた。殊に、本学部においてご専門の、対外準備保有と購買力平価に関する理論的・実証的研究を精力的に進められると共に、その研究成果を国際経済学、国際金融論、国際経済統計分析、経済学概論等の講義に反映され、本学の研究教育に多大な功績を残された。発表された主要な業績は『購買力平価と国際通貨』（香川大学経済研究叢書4、1989年）と「購買力平価からの乖離要因とその作用経路」『香川大学経済論叢』第66巻第4号（1994年3月）等である。本年2月2日には、「対外準備保有と購買力平価」というテーマで最終講義が開催され、多数の大学関係者や卒業生が熱心に耳を傾けた。今後も一層の御健勝のほどを祈念申し上げます。

## ◇ 近経研究会

開催日：平成8年6月19日（水）14：00～

報告者：平井健之

テーマ：政府支出と政府収入の動向に関する実証分析

報告者：姚 峰

テーマ：1. 多変量非正常モデルの共和分と因果関係に関する研究

2. 情報量基準法と階層  $x^2$  法による Box-Cox モデルの同時識別問題

報告者：山村能郎

テーマ：首都圏における地価変動に関する一考察

## ◇ 現代社会研究会

開催日：平成8年7月12日（金）15：00～

報告者：安井修二

テーマ：「いま、社会主義を考える」

◇ 下記の所員が海外渡航された。

石川 浩所員

目 的：第7回 IFIP 構造システムの信頼性に関する国際会議における講演発表  
及び信頼性工学に関する研究討論

渡航先：アメリカ合衆国

期 間：8.4.1～8.4.7

今井慈郎所員

目 的：第7回 IFIP 構造システムの信頼性に関する国際会議における講演発表  
及び信頼性工学に関する研究討論

渡航先：アメリカ合衆国

期 間：8.4.1～8.4.7

宍戸榮徳所員

目 的：「第9回国際文化経済学会」に出席及び研究打ち合わせのため

渡航先：アメリカ合衆国

期 間：8.5.6～8.5.13

宍戸榮徳所員

目 的：「オペレーションズリサーチ学会国際連盟第14回世界大会」での発表及  
び座長を勤めるため

渡航先：カナダ

期 間：8.7.6～8.7.13

井上信一所員

目 的：オセアニアの日系企業の管理会計に関する調査研究のため

渡航先：オーストラリア、ニュージーランド

期 間：8.7.18～8.9.1

阿部文雄所員

目 的：動学的経済モデルに関する研究のため

渡航先：アメリカ合衆国

期 間：8.8.4～9.5.5

佐藤 忍所員

目 的：高度専門労働者の国際移動についての研究のため

渡航先：フィリピン共和国

期 間：8.8.27～8.9.7

筑瀬精子所員

目 的：シェイプアナリシスに関する統計的推論についての共同研究のため

渡航先：連合王国

期 間：8.8.29～8.11.8

リム・ロン・ユー所員

目 的：日本とマレーシア企業の比較研究のため

渡航先：マレーシア

期 間：8.9.1～8.9.29

丹羽佑一所員

目 的：ポンペイ古代ローマ都市遺跡における城壁の起源とその形成過程に関する研究についての現地調査のため

渡航先：イタリア共和国

期 間：8.10.6～8.12.6

◇ 経済研究所員の異動について

鈴木智弘 平成8年10月1日付で、信州大学経済学部へ転任された。